

海外安全対策情報（ドバイ及び北部首長国：在ドバイ総：2017年第4四半期（10月～12月）分）

1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

(1) 一般犯罪

ドバイ警察によると、ドバイ首長国における2017年の重要犯罪の認知件数は、前年に比べ15%減少した。

また、2017年中にドバイ警察は、1,742件の薬物関連事件を解決し（前年は1,607件）、2,553人の被疑者を検挙した（前年は2,121人）。

シャルジャ警察によると、シャルジャ首長国における2017年の犯罪の認知件数は12,633件で、前年の13,638件に比べると、7.37%減少した。

アジュマーン警察によると、アジュマーン首長国における2017年の犯罪の認知件数は7,487件で、前年の7,432件に比べると、僅かに増加した。

(2) テロ

特記事項なし。

(3) デモ・騒擾等

特記事項なし。

(4) 外交団に対する犯罪

特記事項なし。

(5) 日本人に対する犯罪

特記事項なし。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人

○ ドバイ首長国（10月9日発生）

ムラカバット地区のショッピングセンター駐車場において、アフガニスタン人の兄弟は、パキスタン人男性と口論となり、同人の首を締め付けた後、刃物で胸部を複数回刺して、殺害した。

○ アジュマーン首長国（10月25日報道）

アル・ジュリフ地区において、アジア人の男は、同僚の男性と口論となり、刃物で頭部や腹部を複数回刺して、殺害した。

○ ドバイ首長国（12月25日報道）

ジュベル・アリ地区の社宅において、パキスタン人の男は、上司のインド人男性と雇用関係でのトラブルの末、口論となり、同人を刃物で刺して、殺害した。

(2) 強姦・強制わいせつ

○ ドバイ首長国（10月3日発生）

ジュベル・アリ警察署管内において、インド人警備員の男は、屋外で友人と遊んでいた少年を警備監視室に誘い入れ、無理矢理キスをした上、身体を触るなど、強いてわいせつな行為を

した。

○ ドバイ首長国（10月6日発生）

ドバイのアパートにおいて、中国人ツアーガイドの男は、女性が居住する部屋に侵入し、室内で就寝していた女性を強姦した。

○ アジュマーン首長国（10月20日報道）

リワラ地区において、アジア人バス運転手の男は、下校時のスクールバスで寝てしまった少女をバス後部座席内に残し、身体を触るなど、強いてわいせつな行為をした。

○ ドバイ首長国（12月5日発生）

ナイフ警察署管内の会社事務所において、バングラデシュ人運転手の男は、少女に無理矢理キスした上、抱き付き、また、無理矢理自分の身体を触らせるなど、強いてわいせつな行為をした。

○ ドバイ首長国（12月17日発生）

ドバイ首長国の一般住宅において、パキスタン人の飲料水配達員の男は、配達先の住宅のキッチンにおいて、依頼元の女性の身体を無理矢理触るなど、強いてわいせつな行為をした。

○ ドバイ首長国（12月26日報道）

ドバイ首長国の家具店において、ベルギー人の男は、照明具売り場で、無理矢理少女の身体を触るなど、強いてわいせつな行為をした。

(3) 強盗

○ ドバイ首長国（10月1日発生）

ビジネス・ベイ地区のアパートの一室において、ナイジェリア人の女は、ナイトクラブで知り合った男性を部屋に呼び込み、他のアフリカ人の女と共謀して、同男性から現金4,800ドルを強取した。

○ シャルジャ首長国（12月12日報道）

シャルジャ首長国の産業地区において、アジア人の男を含む5名は、銀行で預金を下ろした男性の後をつけ、催涙スプレーで襲撃した上、所持品と現金27万ディルハムを強取した。

3 日本企業の安全に関する諸問題

特記事項なし。